



JBMA 中央労災対策協議会 地方労災対策協議会

青年部だより

社団法人岡山ビルメンテナンス協会青年部広報委員会発行

住所 〒700-0985 岡山市厚生町3-1-15 岡山商工会議所ビル2F TEL 086-225-8660



JBMA 中央労災対策協議会 地方労災対策協議会

平成十二年度 岡山ビルメンテナンス協会 定例会議並びに労働安全大会開催

九月二十九日 岡山商工会議所ビル会議室において、会員三十六社出席のもと、定例会議が開催された。各種報告事項の後、公益法人指導監督基準への対応と合わせて、協会活動の活性化を追求する必要性から、事務局より、委員会組織の変更案が提出されたが、委員長選出の在り方並びに、広報活動の在り方においての問題点が指摘され、再度役員会に諮り、対応する事とした。

一丸となって、小さな災害要因をも摘み取るなど、災害の予防に努力し、自主的な防災防止活動を推進し、労働災害の絶滅に努めます。そして、健康で安心して働ける職場環境を作り上げます。

平成十二年度労働安全衛生大会を機に、決意を新たにし、ここに宣言致します。

【0災害表彰会員】
 * 五年以上八社
 (株)セツビ
 (株)シフト
 (株)J.R.西日本広島メンテナンス 岡山営業所
 三要電熱工業(株)
 (株)建美装社
 (有)アローサービス
 (株)J.R.西日本岡山メンテナンス (有)河本
 * 三年以上三社
 東洋ポリシユ(株)
 西日本建物管理(株)
 倉敷警備保障(株)



産業保健相談員 田辺 謙一 講師

引き続き開催された労働安全衛生大会においては、二千年記念大会として、0災害優良企業の表彰が橋本会長よりなされた。また、産業保健相談員 田辺次雄氏による「労働安全衛生について」のテーマで講演が行われた。講演要旨は、企業には、「安全配慮義務」があり、労災訴訟となると勝つことは極めて難しい。怪我をする人は、「知らない人」「出来ない人」「したくない人」であり、現場責任者の教育が重要である。また、計画的でない物は、怪我をしなくてもすべてが事故であり、ハイシリッヒの法則に従い、赤チン事故を無くしていこう。そのためには、全員の力で、「明るい職場」「楽しい職場」を自社に適した活動を通じて築いていこう。と具体的ステップを交えて述べられた。最後に、労働安全衛生大会宣言を採択して閉会した。

【労働安全衛生大会宣言】
 労働災害は、災害要因を見逃す事から起因した人災といえます。人災は、努力次第で、防止する事ができます。
 私たちは、経営者と従業員が

労災収支率及び収納率の推移(%)

	H7	H8	H9	H10	H11	
収支率	岡山県	179.1	170.9	162.4	190.9	136.3
	全国平均	88.5	92.3	104.1	102.3	99.8
収納率	岡山県	93.1	92.7	93.7	93.4	92.4
	全国平均	96.8	96.7	96.5	96.3	96.8

*収支率は、改善傾向にありますが、収納率が悪化しています。労働保険料の期限内納付にご協力下さい。

第五回JBMA青年部全国大会 「ベンチアースピリットin広島」参加報告



平成十二年十月二十一日、広島青年部担当による第五回青年部全国大会が、全国十四団体・百三十名の参加の下に開催された。岡山協会からは、小山部会長以下十名が参加し、内、正副部長三名は、二十一日の交流会にも参加した。

二十日に行われた講演会は、「事業を創る」と言うテーマで、グッドウィル・グループ代表折口政博氏が講演された。講演内容の要旨は、「事業を創る」ステップとして、夢・志を持つ→明確な方針発表と、ビジョンの共有・社会的使命(ミッション)の確立→技術とシステムの確立→執念と強い意志を持ち継続。の手順が大切であり、例えば、技術からスタートしたのでは、大きな事は出来ない。また、技術とシステムは、現在価値でしかなく、常に先を行くリファインのエネルギーが重要であり、ミッションが確立していれば、社会貢献に対する報酬として得る利益は、「付加価値」の適正ラインを見極める事による値段設定に基づく」という本質をつきつめたマインドを身につける事が

大切である。事業の多角化においては、本業の経営資源(人・物・金)を犠牲にしてはならず、中心人物には、持ち株等により、自分の会社という風土にする必要がある。と、ご自身のジュリアナ東京での経験をもとにして解りやすく述べられた。又、社会的使命として、儲け≠顧客満足度を捉える事による。と述べられて、①常に当事者意識を持ち(金を借りる場合は、銀行の立場で見る)②センスを磨く。③ボーリングのセンターピンに当たる物を見極める事が重要。と述べられ、特に②については、航空会社におけるセンターピンは、「安全性」であり、ディスコにおいては、「人が多く集まる事」が該当する。人を集めるという戦略に基づいた戦略として用いたのが、曜日限定のイミテーションを配布する事による「常に満員」という口コミで、客の増加を図り、やがては、イミテーション不要で満員となっていた。と、説得力を持った解説がなされた。これらの説明を通じて、大きな「事業を創る」には、起業家は、常に当事者意識を持ち続ける事により、センスを磨き、データベースへの蓄積が重要であり、事業も、マラソンと同じく長い競争ではあっても、順位がつかない以上は、最初からトップ集団に位置する必要があると結ばれた。

その後、六テーブルに分かれて、「新規事業参入事例」「都道府県入札制度」のテーマで、テーブルディスカッションが行われ、総括として、全協副会長 川妻氏が、ITの普及に伴い、ビルメン業界も、業界の外からの参入等の力で

変えられる恐れがある。また、当面する入札問題については、現在不適格業者の排除が問題となっているが、さらに、インセンティブ(報奨的)契約を目指して各県努力してほしいと結ばれた。

その後行われた夜の瀬戸内海クルージングでの懇親会は、広島青年部会による数々の趣向で、大いに盛り上がり、有意義な時を過ごした。

岡山協会三名を始め、一部の方は、翌日の交流会にも参加し、一層の交流を深めた。

最後に、お世話頂いた広島青年部会に感謝すると共に、来年の開催は、兵庫県である事を報告致します。

〈従事者研修指導者 講習会開催〉
 六月二十八日 岡山商工会議所ビルにおいて、平成十二年度清掃作業従事者研修指導者講習会が、会員四十社一般二十六社出席人員百二十名を得て開催された。本年度は、改訂された認定書による初年度に当たり、当日は、例年になく多数が熱心に受講した。講習会カリキュラムは、全協モデルに従った物であるが、本年度は特に、認定有効期間が新たに記載された関係上、登録に関する書類作成についての講習が時間を延長して行われた。

認定証様式変更と合わせて、登録期間が六年に延長された事もあり、登録各社におかれては、毎年の書類作成に留意し、登録更新に際して、支障の無いようにして頂きたい旨 宮下理事より特に求められた。



コンペ参加メンバー

七月十八日(火)、岡山御津カントリークラブにおいて、第四回(社)岡山ビルメンテナンス協会青年部会親睦ゴルフコンペが開催された。

当日は、折からの猛暑の中、十一名が参加して、青年部会ールであるダブルペリア方式による十八ホールが、和気あいあいの中で行われた。

祝・全国ビルメンテナンス協会表彰

功労者表彰
 西日本建物管理(株) 代表取締役 林 茂樹

永年勤続者表彰
 (社)岡山ビルメン協会 事務局長 中村 寛

祝・平成12年度 環境衛生功労 岡山県岡山保健所長表彰

岡山美建株式会社 代表取締役 峰山 和昭

明和ビルサービス株式会社 代表取締役 宮下 正晴

協会新会員紹介

株式会社 太陽アメニティ

代表者 青山 敏壽

所在地 岡山市御舟入町1-30
 Tel 086-224-9411 Fax 086-224-8340

ビルクリーニング技能競技大会に参加して

〈選手感想文 出場順〉

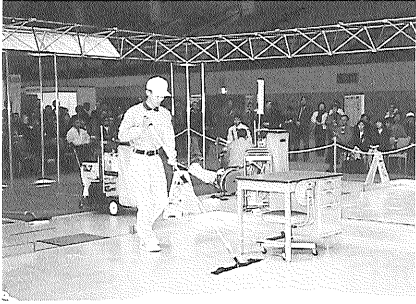
「アツ」と言う間の
十九分四十七秒

株式会社 アラクキ
白川 伸也

大会初日、第一組Bコート。白い揃いのジャンパー姿の審査員。他の選手の技量を知る事の出来ない一組目。不安を抱えて、資材の入念なチェック。準備ヨシ。「用意は、よろしいですか? 競技始め!」審査委員長の合図。「始めます!」:「終わりました!」アツと言う間の十九分四十七秒でした。

終わってみれば、自分でも驚く程の最高の競技が出来たと思います。「百点の出来です!」この言葉を自信を持って言える様に、四ヶ月近く練習を積み重ねてきて良かったと思えました。結果は、優勝には一歩及ばず準優勝でした。しかし、自分としては、ミスも無く、悔いの残らない結果を出せた事に満足しています。

この様な結果を残せたのも、業務の忙しい中、練習に参加する時間をさいて下さった会社の方々・熱心に指導して下さいました師の方々・心の支えになって下さった仲間の手・そして、遠路はるばる応援に駆けつけて下さった社長始め、多くの皆様方!それらの方々の力を得てここまで来られた事としたいと思います。本当に有難うございました。



準優勝 白川選手

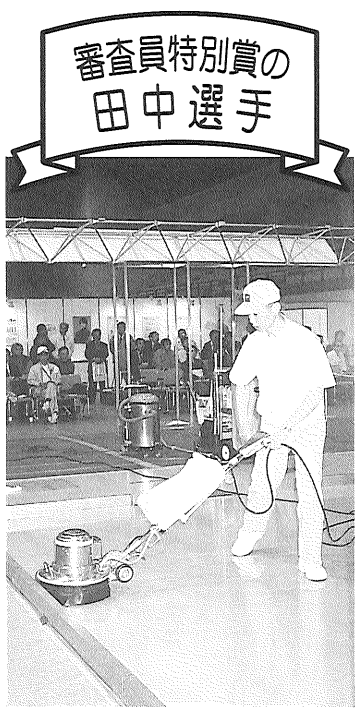
この大会に向けて、優勝を狙おうと、幾度も練習を積み重ね、自信を持って臨みました。大会当日も、早朝より、会場周辺を軽く走ったり、本番スタート直前まで時間が有る限り反復横跳びや深呼吸を繰り返して、体を暖め、気を落ち着かせようとしました。

西日本建物管理株
吉田 浩二

胸はドキドキ・胃はキリキリの連続でした。が、競技開始の合図が有ってからは、こちらの物々周囲の騒音を気にせず、自分のいつものペースで行けると思えました。途中からは、隣のコートの作業状況が耳に入りだし、アナウンスの声・我社の社長の声等が耳に入る程の余裕が出てきました。残念ながら、その余裕が私の命取になるうとは、思ってもいませんでした。

作業終了の合図と同時に、「俺はやった!」と、思い、ガッツポーズを入れて振り返ると、私を応援して下さいている人達がバツの悪そうな顔をしておられました。結果は、十七秒の「タイム・オーバー」でも、私自身、今迄してきた事全てを出し切れたので、何も言う事は有りません。同じ岡山県代表の他の二人は、準優勝と、特別賞が貰えた程の出来で、最高の大会でした。

次回は、我県・岡山で中国大会が行われる予定なので、是非とも出場し、今回の悔しさを晴らす為に、今以上に日頃から気を入れて仕事に励もうと思っております。



〈思いもかけぬ努力賞〉
株J R西日本岡山メンテナンス
田中 彰

今回、大会に向けてご指導等して下さいました皆様、応援して下さいました皆様、本当に有難うございました。

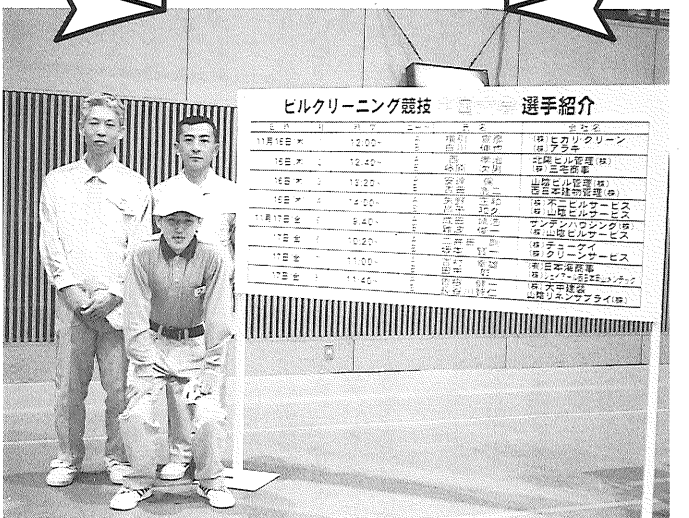
今回は、岡山県代表選手の一として出場させて頂きました。この大会に向けては、八月からの三ヶ月余り、協会事務局始め諸先生方の熱心なご指導のおかげで、未熟者の私を、どうか一定のレベルまで引き上げて頂きました。本当に、良い練習の機会を与えていただき、お礼申し上げます。当日は、「これだけ練習を重ねてきたのだから!」と、何度も自分に言い聞かせ、気を落ち着かせました。その効果が有ったのでしよう。比較的冷静に競技を終える事ができました。結果は、思いもかけない立派な賞―審査員特別賞を頂き、大変感激致しました。自分では、努力賞が頂けた物と思っております。いざにしまし、素直にこの受賞の喜びを会社の方々・家族共々と分かち合いたいと思っております。本当に有難うございました。大会では、平素の実力を出し切った方、残念ながら、出し切れなかった方と、色々ではありますが、全体的には、私が想像してい

た以上に技能レベルに差があった様に感じられました。また、折角立派な大会を開催されるのですから、もし、土曜・日曜等の休日での開催が可能であれば、もっと多くの方々の参加が有り、外部の方も見学される事となれば、ビルメンテナンス業を一般の方々に、もっとご理解頂ける又とない良い機会になる事と思われまふ。最後になりましたが、今回の貴重な経験を、業務に、後輩の技能レベルアップにと、微力ながら役立てていきたいと思っております。今後共、ご指導の程宜しくお願ひ申し上げます。また、ご指導・応援と、色々お世話になりました。有難う御座いました。



応援団 (宮島にて)

好成績の岡山代表3選手



左より田中・白川・吉田各選手

ビルクリーニング競技		選手紹介	
1組Aコート	12:00	田中 彰	岡山県代表
1組Bコート	12:40	白川 伸也	岡山県代表
2組Aコート	13:00	吉田 浩二	岡山県代表
2組Bコート	14:00	田中 彰	岡山県代表
3組Aコート	8:40	白川 伸也	岡山県代表
3組Bコート	10:00	吉田 浩二	岡山県代表
4組Aコート	11:40	田中 彰	岡山県代表

ビルメンフェア21に参加して...



永川 亮 (株) 小川 大

十一月十六・十七の両日、広島サンプラザに於いて、ビルメンフェア21が開催され、ビルクリーニング技能競技大会を中心としたビルメン関連機器の展示・デモンストレーション・ビルメンフォーラム等が、同時に開催されました。メインは、もちろん技能競技大会です。

初日、我々が会場に到着すると、丁度、開会式の最中でした。色彩豊かなユニフォームを身につけ、整列した選手は、名前を呼び上げられると、気合の入った大きな声で返事をしていました。煌びやかに装飾されたコートがさらに緊張感を与え、応援で参加している我々にまで緊迫した空気が伝わって来ました。

今回、岡山代表の、白川・吉田・田中の三選手は、例年に無い練習量をこなして来たと言っています。三人とも商工会議所に設けられた練習場で、額の汗を拭きながら本場に一生懸命な練習を重ねたそうです。一日目岡山からは、開会式直後の一組目に白川選手が、三組目には吉田選手が競技に臨まれました。二人とも十分に練習の成果を発揮され、冷静に作業をこなされた様に見受けられました。

初日の競技終了後、出展会社各一時間程度のプレゼンテーションが行われている展示会場を見て回りますと、資機材の展示では、今大会のスローガンでもある「環境」に関わる商品が印象的でした。剥離作業後の汚水に含まれるワックスを燃やさないゴミとして処理できるシステム・中性の剥離剤・水拭きだけで光沢が復元するナイロンたわし:各社それぞれ、環境をテーマに様々な商品を開発していました。また、コンピュータの発展もあり、中でも、ビルメン業者向けに開発されたシステムは、印象的でした。情報

化社会への変革は、ビルメン業界も例外ではありません。この「環境」と「情報化」は、正に二十一世紀のキーワードです。さらに、「環境」は残していく物、「情報」は、創っていく物として、相互に重要さを持ちます。現在環境問題は、温暖化・酸性雨・ダイオキシン等あらゆる処で取り上げられています。その原因も、個人にあったり、企業にあったりと、実に様々です。そうした中でビルメン業界は、生活環境を商品とする産業としてリーダーシップを取るべき立場にあると考えます。環境をリードする産業に従事する事に誇りを持ち、個人レベルで、且つ業界全体で取り組んでいく必要がある:と、そんな事を感じながら出展会場を廻りました。

翌日―今日は今大会出場選手中最年長、田中選手の競技です。田中選手は、メリハリの効いた確認動作で、実力通りの若々しい競技を見せてくれました。競技終了後、我々青年部応援団は、宮島観光へと向かいました。宮島を出発しようとした程度その時、競技大会の良い結果がバスの中に漂い、全員一致で予定変更。我々のバスで、選手を迎えに行き、労をねぎらう事にしました。果たして結果は、白川選手が準優勝。田中選手は、前例の無い審査員特別賞を獲得しました。心地よい疲労感を乗せたバスは、順調に岡山駅前へ帰着し、無事解散となりました。個人的には、技能の勉強が得意、多数の商品の紹介・サンプルの使用で通例の展示会とは少し違った意義ある二日間となり、参加させていただいた事を有り難く思っております。また、最後に白川選手・吉田選手・田中選手、関係者の皆様、本当に、お疲れさまでした。